俳林良材集

冬上

茅七号

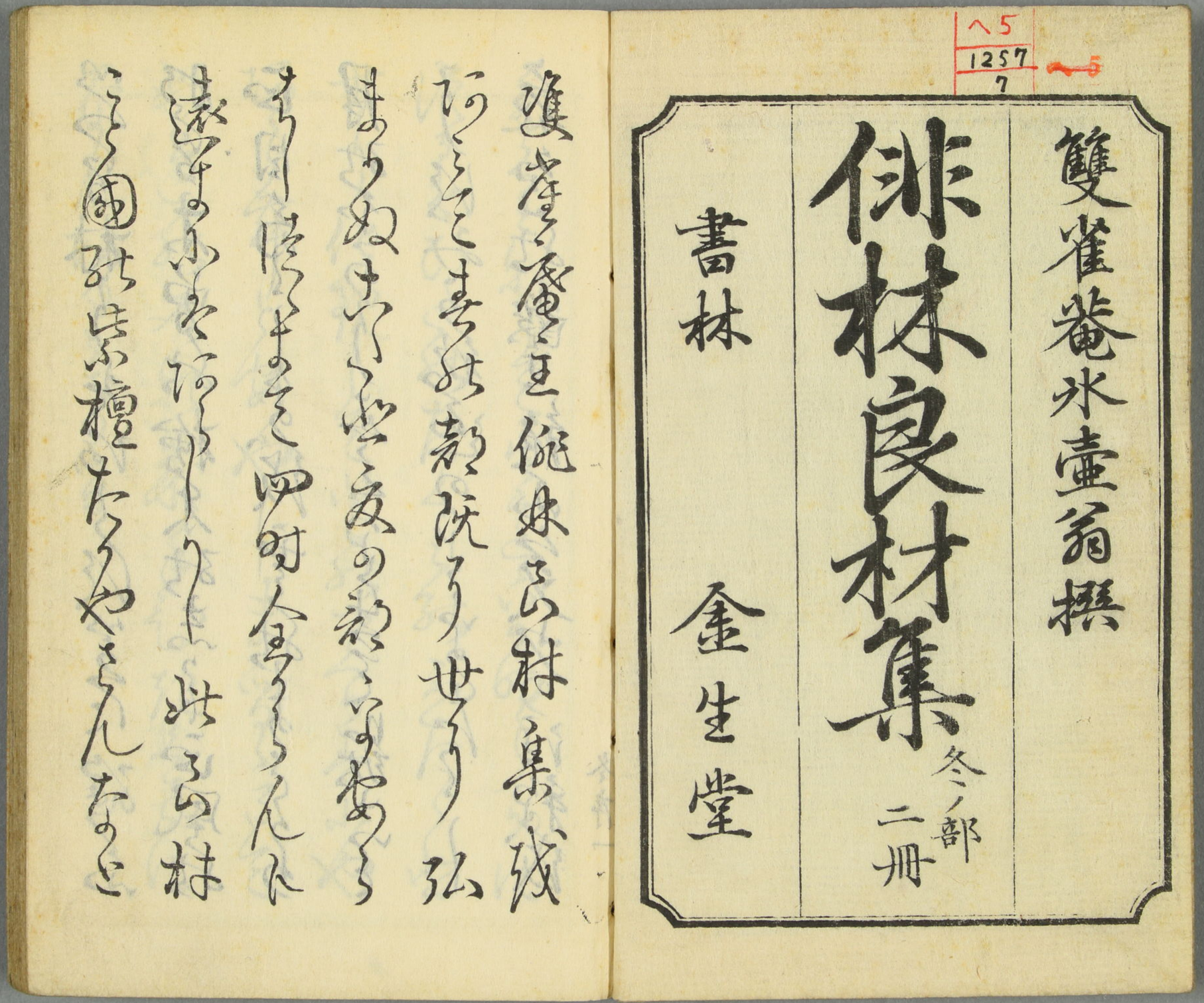
へ 5
1257
7

へ5
1257
7

雙雀菴水壺翁撰

俳林良材集 冬ノ部 二冊

書林 金生堂



雙雀菴水壺翁撰俳林良材集冬ノ部
ひのもとの書林新板の世の弘
まりの如き書肆の新古の名あり
さり除きものを四時分類して
遠年のふるをひろい此の林
こゝ國所宗檀たるやうんなるを

以前林りを切り竹を踏ふ
所の木曽の檜木なれは山風に
西日あたしまし後世まてまさりう
月なれのうり来るを歌ナリを
りはみの稲迄のあたらしく
花あるは鑿能の多少の注釈後
あるを知るなるのりうに
はるをひらけたるを西
世り仕訳しを学なれつ有るを
はつ年とあるはまりあるを
此をなれ又なれ業を重ね記をに
なんはつるとの日

安政三未初冬

拾葉

冬部二

冬之部題目録

乾坤之部

十月 一 神無月 二 初冬 三 小六月
小春 〃 夷の子 五 冬の日 〃 冬の夜 〃
冬の長 六 冬ごもれ 〃 小春晴 〃
冬籠 〃 下元の日 九 初雪 十 炉開 十二
巨燵 〃 火鉢 〃 火鉢 十三 炬火 〃
あたたく 十四 温石 〃 炉湯 〃 初時雨 十五
時雨 〃 ちちき 十七 霜 〃 風 廿
初氷 廿三 薄氷 〃 冴る 廿四 冬の月 〃
月冴る 廿五 冬を 〃 霜 〃 炭の子 〃
炭 〃 俄雨 〃 霜月 〃 霜 〃 雪姫 〃
雪年 〃 山吹る 〃 冬の山 〃 冬の山 〃
冬籠 〃 冬日和 〃 十二月 廿三 冬籠 〃
冬至 廿四 一陽の長 〃 冬の田 〃 霜月 〃 冬の雨 〃
霰星 〃 冬入 〃 霜 〃 霜月 廿九 新見世 〃
雪の日 〃 雪見 〃 霜ちる 〃 霜 〃 霜月 〃 獺の祭 〃
銀雪 六十六 雪ちらちき 〃 ちらちる雪 〃 氷 〃 雪 〃 氷 〃 雪 〃

雪景の
雪おろし
すがる
森
ひ
樵
縄八
雪景

六十八
七十六
七十七
八十一
九十七

雪佛
寅
つるべ
河川
雪踏
十二月
小雪

六十七
六十七
七十九
八十六

雪踏
氷柱
氷
雪車
師走
大雪

八十六
九十六

植物之部

蕗
冬木の梢
萩
藤
菖蒲の葉
八重の花
多仙
菅麦刈

廿二
廿六
廿八
廿一

木葉茂
柏
藤
子持ち
山菖蒲
家の梅
宮葉
蝶生葉

廿一
廿四
廿九
廿七
三十
廿一

冬木の梢
柳
芭蕉
菖蒲の子
牡丹の芽
石蕗の花
大根引
麦蒔

紅葉茂
打蕨
蕨尾花
葛
枇杷の花
牡丹の花
蕪引
冬梅

廿三
廿九
廿七
廿一

冬目

冬の梅
宮梅

七十
百

蕗
宮梅

七十一
冬蕗の梅
蕗の子

九十九
早梅
宮梅の子

生類之部

網代
木兎
水鳥
水鳥
鴛鴦
鴨
鴨
鴨

綿子　紙子　四十九
ふくん　袴　六十一
被物　生絹
餞酒

神道　四
維摩会　七
四天王寺　十
大社神事　八
神迹　十一
雷電祭　九
物忌祭
大嘗祭
日吉隠岐祭　九十六
小忌衣
伊勢物忌
小忌祭
産穢

布子　五十
防巾　七十八
菓子　九十七
宣旨の酒

神祇官　四
建子忌　七
重陽宴祭
踏歌　十
東福門院忌
神集　十
家傳祭
菊麻祭
中山祭
出田祭
東三条神楽　九十七
神楽歌
神遊歌　九十七
日吉祭
日吉の祭
榊物歌
子歌
子祭　卒九
吹革祭

食　四十九
酒　六十一
生絹

宣旨酒　六十
四季祭
天満宮皇國忌
温糖粥
五条天神祭　八十四

公事　四
更衣
拝堂
射場始　七
賀茂祭　九十四
東宮の西
牛の供
春の門
松祭　歯固　八十一
賀茂祭

歳暮　八十二
八十三
高天原

神仏　六十二
四季祭
月忌の祭
御伝名
乗物刑神事　八十二
宗教伝　九十七

大地震　六十二
四仏事
大神祭　八十
景教寺院　八十一
宗教の終焉
新宮津寺　六十

焦糖食
跡祭寛
後歌
悔書の試
強飯祭
四時の節
年書子の儀
過儀　八十一

進炉炭　九
舞楽　九十三
機嫌
殿上閉殿　九十六
野宴
被物
高麗の宴
鬼やらひ　八十二

整地
[illegible]
[illegible]

[illegible]　八十四
[illegible]　八十五
[illegible]の礼　八十六

年の毒　八十七　小晦日　〃　除夜　〃　年の暮　八十八
年の哭　八十九　年の末　〃　年の名残　〃　〃　〃　九十
除く年　〃　〃　〃　大晦日　〃　〃　〃　〃
終年　〃　〃　〃　元日　〃　〃　〃　九十一
毒を待　〃　〃　〃　門松建る　〃　〃　〃　〃
求性　〃　〃　〃　俳諧　〃　〃　〃　九十三
衣紙　〃　〃　〃　年末詰　〃　〃　〃　〃
除く　〃　〃　〃　年の市　〃　〃　〃　九十四　長年不
俤井貴　〃　〃　〃　窗俤　〃　〃　〃　九十六　絶却貴
年籠　八十八　年忘　〃　星紙貴　〃　〃　〃　極楽栗貴
古屋　〃　〃　〃　九十九

俳林良材集

冬之部

京都帝國大學圖書之印

雙雀菴氷壺編集

冬

漢律　大陰ハ北方ノ方位ニ伏ス陽ハ東方ノ方位ニ伏ス物終ル所ノ方位ニ伏ス物始ル所ノ方位ニ伏ス

日釈　冬ハ陰ノ方位ニ伏ス物終ル所ノ方位ニ伏ス物始ル所ノ方位ニ伏ス

・瓦英・上天・玄帝・律管・

・玉衡

十月

陽月・小春・応鐘・時雨月・神無月・小雪・暮秋・

出雲を神無月と云ハ孝経丹雪篇ニ曰ク出雲ノ方ノ未来ニ出ル故ニ出雲ノ方ノ未来ニ出ル故ニ出雲ノ方ノ未来ニ出ル故ニ

十月千ぶるの雨の松葉もきし　古　蕪村

十月やきぬぎぬの色の小松原　蕪村

十月の中ばの雨の小　ムラシグレ　雨山

十月やうすきの雪の丶立波

十月やのうすの雪の丶　カヒ　の物

十月のあらのの雪の丶　テハ　蕪村

玉兎十月めぐりの淋芽ゑ　テハ　蕪村

十月や雪ふるの雨の丶灌河

十月やのうの雪の紅葉丶水竹

十月やのうの雪の紅　ヒクチ　葉月

十月や雪ふるの雪の丶　下サ　壹長

十月やうすの雪の月　ヱ　葉居

玉淀兎の月

神無月

此月を居て神無月　其角

小春の神無月　古葉能
うのくゝ鳴るゝ神無月　芭蕉
義根きく菊の花や神無月　素堂
山里や秋の光りの神無月　清民
法山もこゝにて神無月　下毛山古
小山ゝ寄ゝえらめる神無月　金蘭亭
初冬や陸子つくるひとり庵　角上井
冬の雨や宮路の宮ぬれ色　文化　青葉
初冬や寄の つきぬ相窩　上ケ子　一馬

初冬

初冬の雨ゝ枯ゝ庵のしら　芭蕉
初冬の秋葉ゝ散ゝ雀の跡　林元
冬の雨や葉ゝ散ゝ磯の鶴　下ケ　一龍
初冬や葉ゝ散ゝる梅もき　素月
鶏鳴ゝ冬ゝ出ゝ小六月　古鄙朝
冬ゝ咲ゝ葉ゝ行ゝ小六月　カヽ　紅束
どんゝ鳴る海辺の堀や小六月　上ケ子　鶏秋
ふゝ鳴ゝ冬ゝ雲の来ぬ小六月　下ケ　莖丸
帰ゝ花ゝ汐の来ゝ小六月　芭蕉

小春

[illegible]

小春日や[illegible]の山　トサ　月梅

日[illegible]小春[illegible]　京　淡路

[illegible]の[illegible]を[illegible]　祐之

[illegible]小春や[illegible]　山子

[illegible]　トサ　[illegible]成

[illegible]小春の[illegible]　庵[illegible]

[illegible]　テハ　[illegible]

小[illegible]の[illegible]　由儀

更衣

[illegible]　公　一日　[illegible]秋の[illegible]

紙子　二日　更衣の式[illegible]　新十

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　

[illegible]

氷魚の[illegible]

孟冬ノ旬

[公]一日天皇南殿ニ出御氷魚を[illegible]

[illegible]炉炭を進[illegible]

神送

一日諸社[illegible]風雅の[illegible]

[illegible]

[illegible]

焦糟食（セウソウノクラ）

一日[事]庚士ニ新楚の人食[illegible]

進炉炭

媛炉禽[illegible]十月一日[illegible]媛炉をもて[illegible]民[illegible]媛炉禽を

[illegible][夢]

拜墳

[増][illegible]十月[illegible]日[illegible]の諸人[illegible]

[illegible]葉中[illegible]馬車[illegible][夢]

亥ノ子ノ餅

[illegible]亥の日餅を食[illegible]

[illegible][群][illegible][公]・[illegible]

[illegible]

[illegible][世]

[illegible]

[illegible]

[illegible

一二新家よりあり玄蕃の子解　テハ　ラ　重

紙をしう学や玄蕃の子解の書　ヒタチ　湛永

鶴ゆくるぬくいの日のきえ玄蕃の子ハ　ヒ　李池

日松の堀ふまをきるいのかうれ　馬代め

旅ふ居ふ古ふの家のみおもしろう　テハ　油野

冬ノ日

冬の日ぬさ一つる松の白い小　ヒ　曉叢

冬ぬ日ふまふ冬のかうれ、　馬胡

冬ノ夜

冬の夜や鶏ふ冬ふ思ひ、一具

冬の夜や月ふ冬ふ風ふ　椎薗

立冬ノ節　十月の立冬ノ節

冬きぬ

冬きれ二ぬふ雪ふ海ふ　ヒ　巨角

冬きぬの雲ふ家余ふ小雪ふのれ　鳥鶴

冬ノ鶴

冬きれの雪ふ小ふ　トサ　山足

冬きぬ雪や風ふ雪のふ日の雪る　テハ　油野

北家塞

冬きれや雨の西ふ雪ふ東ふ　ヒタチ　素月

冬きぬの山ふ雨き日和の家　ムサシ　花調

冬きぬ袋や仏雪のぬきの山ふ、　市笠

冬ノ稿

冬の雪ふ雪ふ雪の尾のひめ　イセ　雀皮

冬枯の野中に茂り菜摘み
ハコタテ
小屋
人住む家の菜摘みの
遠所
小窓を塞ぐ雪の深山
人
住山
小屋をふさぐ雪の深山
紅葉
山もとの雪に埋しの
古
住
人もなき小屋の雪の
文里
庵に籠り籠り雪の
水
見たきしの高山ふる雪の
龍法

北窓塞

冬構

朱の葉枯るる梢や冬ごもり
ニチノ
東雲
籠り屋に風のふせきや冬構
母月
月雪の宮ぶりの冬ごもり
テハ
雪
物のこゝろを生ずる冬ごもり
セツ
陣山
敢ぶんと籠る冬ごもり
下毛
松風
簀一重ふせぐ家や冬構
エチゴ
柴屋
夢警朱の高山形もや冬構
長英

射場始

公 二月左右の陽の日射場の操をなす八三月朔日射場始
年歯 よりうち大子射場屋
公の日下乗常しなき出を射る
慶世子弓矢を御覧の左右なかりける

殘菊ノ宴 殘る菊を九月の九日に用ひて行ふ詩を作りて國を治めんの重陽の日

達摩忌 五月廿四日達摩忌を行ふ中ごろ出山の法会

達ものや明くるまもなほ惜しきは 樣堂

達ものや人の心の動きなく 東雲

達ものや風の音さへ無き 葉交

達ものや影の消えぬ 雪英

達ものや世上通ぜず二十年 市笠

達ものや一生の白髮 重精子

達ものや情ぶかき時雨 子布

達ものや雑菓子 花月

達ものや踏ちらしし上ぬ 雪翼

達ものや木の葉の今世人の落ち 優く

達ものや小鍋の粥の煮えん 雪

十夜念佛 五月十五日より十五日まで

舟つなぎ叶ふの中枕 蓑吼

炭つのるや十枕の人社奥 風明

寄せかけ知らぬ十枕 雪

ちらし出す風いとも十枕 ゝ 雪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

興福寺法華會

六日より九月二十日まで七日の間南圓堂長屋大法内廣公の忌日より内廣の口を願公

維摩會 公 十月十六日より十六日まで七ヶ日の間興福寺ゆゑなり

維摩経を講ずる十六日大職冠の口忌日

金比羅祭 十一日 讃岐金毘羅

芭蕉忌 十二日

いまもなほ旅硯 芭蕉

菊長が吳人に赤めし土大根 大莫

十月や吋田尾をを向州 世負

其世我長が園の一のもう 卜尓

家の業世あり東向や 菊の日 雪青

赤くせめもやさかの栗ふ世 陸良

ふるさのの人よしるる赤くせ代 清良

御影講 十三日 蓮上人の忌日なり

[illegible]

影講や油の[illegible]東向立 升 菊

[illegible]

御會式

下元ノ日　十月十五日の事なり

御取越

[illegible]

東福寺開山忌　十六日　一条院忌日ノ通夜　[illegible]

夷講 廿日夷講ヲ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大社ノ神事 中亥日・小雪の節

初雪

初雪や[illegible]

初雪[illegible]

[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

初雪や[illegible]

法勝寺大乗會 廿四日より廿八日まで

神集 和三 大社祈築古神家八出雲の玉神門客祈築樹上の[illegible]
[illegible]神大王貴等[illegible]毎年神集七年一度年[illegible]月八

結文除稲の祈祭ゝ[illegible]神集の儀ゝ[illegible]
元十月十一日ゝ十七日ゝ[illegible]稲[illegible]ゝ稲[illegible]ゝ

[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]ゝ[illegible]ゝ神集め　テハ童山

神集め榊上ゝ[illegible]ゝ風の[illegible]　菓欣

[illegible]風出ゝ[illegible]ゝ神の[illegible]　優々

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　寿度

神留守

物[illegible]ゝ[illegible]ゝ雨や神の[illegible]　スハリ思文

松風の奥ゆのゝ[illegible]ゝ神の留[illegible]　[illegible]偽

神迎

神ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]居

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ神迎　一冨

爐開

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

巨燵　九郎

汗衫を着たる郎　巨燵入れ　圭史

束ふせて立ちたる小　サカミ　朱鈴

月光の射す中の一きさらつれ　ムサシ　松溪

ちらつきの降る中に巨燵小　逢共

寄らしの来て暖まるる小　契史

伝法ぶりたる男を入れ巨燵入れ　峰風

昭を寄ふのうしろ見る火桶小　尾州

降る雪を引しろ見て坐る火桶　重鈴子

火桶

火桶に手ぬくみの残る寒の入れ　ムツ　鈴蘭

人のうを出るや火桶のさまりふり　徐蓬

杉木の字一火桶を囲のうへ　テハ　雪

人を乗の長一火桶の抱ひふり　峰風

郭の内やうに抱しのうの相火桶　エチコ　清子

さあさあ手に抱てうたる火桶入れ　ヒタチ　陸白

清く火を入てうまき郭の火桶小　一吸

立去るの仲間る火ちの乗　古　雪夕女

手舟つく浦を去るのあて火鉢小　トサ　仁里

火鉢

埋火

埋火の栄ゑすみより机さき　の篇

埋火をよまを栄ゑる夜の孔　下サ　号玩

埋火の匂ひ去るやゆかの中　一亭

うつゝ火のかよ友まつ尾の宵　い尾自

埋火や母の衣をこの寄ておく　い板翠

うつめ火の座ゝくやゆの陸　ムセ　生寿

埋火や竹そう乗ゆる夜の思ひ　い酒我

星ゑゝるゑゝ埋火の独り寄り　下元　松風

埋火や行ふふしゝ物見ゝ　ムツ　乗山尾

囲炉裏

埋火ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　下チコ　葉尾

埋火や寄ゑの人ゝゝゝゝゝ　寿貞丸

埋火や影ゝゝゝゝゝゝゝゝ　峰風

俳諧の命ゝ生ゝゝゝゝゝゝ
人の外ゝ俳諧ゝゝゝゝゝ

埋火や物いゝゝゝゝゝゝゝ　仝

薄ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　下サ　菅水

岩縁ゝ横雲の定ゝ囲炉裏哉　常晴

座敷ゝ風呂ゝゝゝゝゝゝゝ　峰風

手帝ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　下サ　板翠

温石

湯婆

茶ノ口切

初時雨

時雨

柳のさし柳の麻やさつきなる　沼水

南神こうきて葉時し初時雨　イカ　雲江

旅笠のやつきなう秋時雨　アハ　麦雨

うきくもの春の野きや初時雨　ノト　呂風

小う市の宮所てあり神おくなる　イツ　子樹

生仕業と落て幸はつくれ　トサ　芳玩

業費ハ家のうつや初時雨　一茅改　一芳

見てうつる耕地の松や初おくなる　古　伯達

おのう世と居時きくおくれ　拙蕉

切炭の屋根上蔵つくおくれ　水楚

宋宵きて去つきりの小夜おくれ　祐之

ふうして帳の裾の雨時雨の形　蕉紫子

蕉子のと春ふ縫きくれ　羅菊子

氏上ハのくくくおくきり　尾州

きつきの是る世とや小夜時雨　山子

宮出や世おくきつや世の明り　長雨

見てきの八のきて日一時雨　五休

麻叶ふよ人きかの志おくれ　重好

見外
翠岳
在乍
祐之
仙自
陵詩
乗芸
書く
拙誠

北松
雪嶺
高代世
壹長
茂成
芝蕚
巖嶺
根佳
出宣

舟の艪の雨よりもなほ新時雨うれ　イッ宋久

人寄のこのもるくらき松風　サカキ松風

寄くるも秋冥くなる海の　ムセ一芳

時雨ふる沖や秋の海よりとる　孤堂

吳服をもくく寄まる寄くる小　エチコ尤像

迎寄のちりそのくる寄の時雨小　葉居

寄この寄の地よりふれり時雨小　越寄

時雨ふり寄ふ自のさ寄のち　河崎

寄くるもまつ寄の雨の寄の恵　祐之

寄のきさ

増　時雨よりの寄のくるもの寄の破せ寄　古白堂

いふまり

ひのくのひる寄ちもの寄の破せ寄

霜

初霜・霜の袴・霜の劍・霜柱・霜の花

月の霜・寄女霜のるふ

演猫の作ちふ霜の おく　中堂

寄のおくく霜の日和の形　北夢

寄ふくや霜の日和まつ柿　大勝

日の色北ふくり出くり霜の上　白

霜の色見寄ちの迎ひくり　賀鶴子

凄ましく星の出て居る霧哉　今

霧和やとんこうの不二の名所哉　花嬢子

色の白ける叫ぶ見ぬ霧日和　亀の女

猟人のおろくる谷や霧の中　今

霧ふる狩場の花の白ゆれ　好甫

霧の海や首出すのこけ松の梢　素閑

寝ぶるの見まく林や霧の自　宋旅

末深く暮ひそて霧原　素沙

浮霧やぬるくぬくの木下色　一求

霧ぬくや雲の流れる家の軒清　其雪

夜を惜む霧よつゝ霧の底　今

遠上る波ゝ寄ゝえて磯の霧　巷花

日のぬくゝうけて雲行る霧の霧　其雪

行のくゝと霧をさけるや霧の中　京　角長

うら屋をおくゝ霧や霧ぬゝ　象亜

井一把門よ建ゝしもの霧　素甫

霧ふのき霧楽の雲霧の縁ゝ　八麦島

拍いへ八畳のゝゝや霧の縁　古湖山

霞ては雪や大て霞てはいふ事の寿　イツ寿霞

初霞や四季の杉の杉ぬの事の如　蕉州

霞柱立や木の本の霞の奥　桃脱

葉屋根のの雫の雫ぬれて霞　下サ十蘇

霞ふるる雫や葉屋根ふる　玉硯

霞ふるる日の暮の松　ムサヒ立波

杉ぬる世の日の霞の芝小　柳佳

木ぬるる寺　野ぬる霞の風　若川

仲春の霞ぬる霞の春　テハ蒙暁

木枯

木枯の方を霞芝の重小　逸閑

木のしたや枯ぬるふくのの寺　京公成

風やなるさう通る人の寿　漁藻

住吉の灯よ吉のしの果ぬる　十六素屋

吉のしやう枯の吉れぬ枝の山　フチコ蒙山

風や伊の屋ぬ吉　ムサヒ荻山

木枯や見の寿　耕地　尾玉

風の伊やぬる　内雪

吉の寿の枯法の枝や川の寿　上サ立英

木のらしや淋しさ池の亀　トサ　庵花

落葉

木の葉衣・木の葉の面・朽葉

旅に寝て落葉の雪を見る寒　ミカハ　塞馬

炉を出るそれも新たに落葉かな　京　公来

日うらうらさしたのしの目の落葉かな　ムツ　多代女

落葉踏て寒しの山の寺　賀　野坡

山池や落葉浮出る水の面　古　太乙

枝の根よりのこる朽葉かな　ムツ　宗长

木の葉散

寒く出て人ふたたび鳴おちたる　尾州　素淵

此庵の一落葉の山の面　素淵

落葉山人掃の音て起る嵐葉哉　ナラヤ　旭峰

落る葉の新たらしや淋しい　野水

落葉の八黄ばみの音る落葉かな　ムサシ　一晨

木ちらす嵐一宿に嵐葉哉　一晨

落葉大よはの影ふる山ちかく　月

ひらひらと夕山ちかく落る木の葉　葉居

さらさらと黄ばみ落る木の葉かな　居二

冬木立

紅葉散

冬木の櫻　増年

枯柏

枯野

[illegible] 枯野小　不條

[illegible] 枯野の小　永泉

[illegible] 枯野うれ　良房

川近[illegible]や枯野の風さむき　紫式部

[illegible] 内よ枯野うれ　賀茂子

[illegible] 枯野小　ムツ金剛

[illegible] 枯野うれ　山ヒロ舒明

[illegible] 枯野の小　サト古水

[illegible] 枯野小　トサ十條

[illegible] 枯野の事　ムサシ心堂

[illegible] 枯野は　多月

[illegible] 枯野系　ちのら

[illegible] 枯野小　コチコ葉庄

[illegible] 枯野うれ　トサト外

[illegible] 枯野　イ

[illegible] 枯野の事　柳　馬芸

[illegible] 枯野うれ　イツ子樹

久[illegible]野

枯芦

海人の苫屋の末葉に枯やまき　湾哦
葉をうしなひ恋ふるまくに枯柳　ムサ大素
うき葉のうらに枯や芦よ人と立　未載
枯芦や出汐をへてうの毛　荘尓
芦もうの毛ふるも枯江の月夜哉　古哦
うき芦よ桜の葉てゐる蓬屋　キイ嘉舟
枯芦を月ハさすれ出ぬ　ムサ桃英
うき芦や種とは延舟の寒　ムツ清民
枯芦ゑ年ゆきてくるや法の月　子鄙

枯芒

枯芒ふるせ弘ふるせ　七尾嘉
麻ふるせ一入ぬの一　枯芒き　嘉將
尾芒の物まつ一や　世負
うきくれぬまてあき尾芒　嘉お
石ゑ出ハ海ゑ　芒廣
芒ゑ出ハ海ゑ　山子
帳の通ふるの芒ゑ　枯尾芒　芒海
見つめ芒ハ芒ゑ　枯尾芒　嘉亡子
窪くや面のなかうしの枯尾芒　サウて狭窪

枯尾花

家桜の中より枯尾花　八十五　蒙曉

半日まつてひと星うせて枯尾花　宋夢

江戸川に水のかれしの芒尾花　素月

見おろすのせめや尾花の枯姿　柳亜

月さらし風さらして枯尾花　山古

枯つるまま義朱枯尾花　像之

萩の種秋神さつく枯すすき　古志

枯けてく夢や豆のう梅す萩　蒙尓

ふる蓮いろ〳〵枯すすき　清民

萩枯ル

蓮枯ル

枯蓮や角上見ける池の底　三十九　蕉堂

はくるゝ八めやもしの葉の音　この犬

枯の月うせて水の葉の白しの音　十七　穆風

風と共の枯てうきくの花　十條

この音葛や伏てうつ八時やうら　古巴

捨ふ葛ふの枯て葛の枯すすき　如白

蓬くゝの音て出るゝ枯ふ乱、　嘯堂

叶ふのこ巻てうて枯むくら　像之

地面八こ形雨ふ白ふて叶ふ　十條

菊枯ル

葛枯ル

葎枯ル

草枯ル

[illegible] 田儀

山[illegible]の尾[illegible]に[illegible]叶[illegible]の[illegible]尼 テハ月器

[illegible]の[illegible]叶やらもくちもて[illegible]廣に[illegible]庭 [illegible]沙

[illegible]に来ぬ苦[illegible]ちもぬ[illegible]の叶 卜外

[illegible]の[illegible]間[illegible]の[illegible]や[illegible]の[illegible]の[illegible] 逸程子

[illegible]の叶 [illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible] 四石

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible] 鬱岳

[illegible]日の[illegible]ぬて[illegible]ちの[illegible]の[illegible] 倭水

[illegible]の[illegible]の[illegible]や枇杷の[illegible] ムリ 一宣

冬の草

枇杷の花

茶の花

[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]の[illegible]れ 苔牧

[illegible]の[illegible]や山[illegible]れ[illegible]の[illegible]の[illegible] 下毛 種好

[illegible]の花[illegible]純[illegible]日和の[illegible] 葉居

[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]の[illegible] 山左

[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible] 時あく[illegible]に[illegible]れ、 情変

[illegible]の[illegible]や[illegible]に[illegible]物[illegible] [illegible]大根、 柄徒

[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible]の[illegible]、 [illegible]月

[illegible]の[illegible]に[illegible]に[illegible]に[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]叶 契史

[illegible]の[illegible]や[illegible]に[illegible]の[illegible]て[illegible]に[illegible]し 秀重

山茶花

[illegible] 吉雪 [illegible]

[illegible] 上野 清河

[illegible] 京 恒蘇

[illegible] 八 麦雪

[illegible] 賀勢子

[illegible] 下サ 壹長

[illegible] 宇山

[illegible] 公雪 雨山

[illegible] 上野 双岳

歸花

[illegible] 賀勢子

[illegible] 仝

[illegible] 波瑠

[illegible] 祐之

[illegible] 紫屋

[illegible] イセ 石影

[illegible] 公雪 雪川

[illegible] 拓製

[illegible] 玩月

咲きつゞける枝更に咲きそのゝち　ムサシ　一茶
咲てまたつゞけとやうちゝ　三浦
降ぬ雪咲ぬ冬牡丹の蕾　トサ　蓬水
手ぶくろ脱ぬ枝をつかんで
畑もやはらかしる一株の冬　田儀
見て居のまぶたの冬牡丹　水壺
乙鳥と咲おもてうら冬牡丹　ミカハ　完伍
冬牡丹いろうるてちらしう　ヒタチ　牧雄
うつゝ寄て見ておもうきの冬牡丹　、子孝

冬牡丹

降る日も降るあり一株の冬牡丹　思成
百姓と見えもせぬ冬牡丹　孤蓑子
ふきぶの巣へこもれや冬牡丹　賀勢子
丹誠よ一生咲ぬ冬牡丹　弓仙
見いるなとゆるす冬牡丹　古成
里ぶく寄てうつる冬牡丹　野甫
姫御の風ふくもかや冬牡丹　ムサシ　義月
ばしの寄る日和上ぬ冬牡丹、春之
冬牡丹ふる雪ふる寝ぬ夜ハ、四桃

八つ手ノ花

[illegible]の[illegible]牡丹　弘圓
[illegible]牡丹[illegible]　林月
[illegible]人の[illegible]の[illegible]牡丹　芳玩
[illegible]世を[illegible]牡丹　葉居
龍の鱗のひ[illegible]　水壽
[illegible]八つまの[illegible]　[illegible]
[illegible]花こそ[illegible]八つまの[illegible]　子布
[illegible]八つまの[illegible]　葉居
葉こそ[illegible]八つまの[illegible]　芳玩

室の梅

[illegible]月や八つまの[illegible]　[illegible]
[illegible]葉の[illegible]八つまの[illegible]　[illegible]
室咲の梅の[illegible]　[illegible]
出[illegible]　[illegible]葉
[illegible]　デハ　[illegible]

石蕗の花

[illegible]　[illegible]
葉の[illegible]　[illegible]
月[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

柊の花

柊の[illegible]　ムツ　小銀
[illegible]　ムサシ　麦雪

水仙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]大根引 スハリ 十前

大根[illegible]の小ふ[illegible]れ、不遠

[illegible]毒[illegible]や大根の引[illegible] きら 牡丹

[illegible]けあく 葉も[illegible]毒大根 エキ 鼓史

[illegible]と祝の[illegible]や大根引 種西

[illegible]あく所や屋根[illegible]大根 トサ 玉項

[illegible]の祝や干大根 陷風

年[illegible]の日新[illegible]菁菜八 棧葵

漬[illegible]菁菜やふの[illegible]作る 煙風

干大根

莖菜

菁菜漬る[illegible]の寒菁 優く

淺漬の[illegible]遠[illegible]る男この[illegible] 古菁

淺漬や[illegible]この[illegible] 甘藍

[illegible]干菜 黍粉子

[illegible]の[illegible]や[illegible]干菜 きく 蛙

村[illegible]の[illegible]干菜小 案二

風[illegible]の[illegible]強し テハ 棧泉

[illegible]人の[illegible]、煙風

風[illegible]の[illegible]灯の[illegible] トサ 庭苑

淺漬

干菜

大根風呂吹

蕪引

[illegible] 桐雪

仮名のみ[illegible]し蕪引　義永

蕪汁や蕪のふりもけもなし　古帚角

[illegible]日の[illegible]蕪引　ムツ智曲

大根ふり引[illegible]や蕪引　金蓮　保友

[illegible]人の[illegible]のきかつぎ　文里

蕪[illegible]や蕪引やふりふり　テハ　影湖

[illegible]福者のみも遠て蕪引　トサ　宋屯

[illegible]の[illegible]蕪[illegible]、　芝蕉

蕎麥苅

[illegible]或人曰蕎麥八月[illegible]苅[illegible]蕎麥苅る八十月の事

[illegible]蕎麥[illegible]熟[illegible]

八月[illegible]

[illegible]月[illegible]蕎麥[illegible]

[illegible]

[illegible]蕎麥[illegible]

[illegible]

蕎麥苅や[illegible]　蘿富子

[illegible]苅や[illegible]　義稱

[illegible]の蕎麥[illegible]人[illegible]苅る　祐之

蕎麥苅や[illegible]　波路

[illegible]　[illegible]

蕎麦刈やそこを通りし猪の先　[illegible]月

そは刈や日のあたりける咽もとけ　[illegible]石

思ひ[illegible]ものやそこをけの蓋　仕山

蕎麦のうやうのもちくたかてのせた　[illegible]

埋生姜

[illegible]や埋生姜　[illegible]風

[illegible]入[illegible]や埋生姜　[illegible]

麥蒔

麦蒔や[illegible]の玉川ひろ渡き　古板宝

麦蒔や仕業仕業よろこ[illegible]　[illegible]子

蕎麥湯

[illegible]の[illegible]蕎麦湯代　古義村

[illegible]麦の[illegible]の遊きれ　好南

麦を荷[illegible]　素閑

麦蒔の[illegible]　[illegible]

[illegible]荷や[illegible]日和　[illegible]

麦蒔や[illegible]荷り人数られ　[illegible]

麦蒔や[illegible]日めつ[illegible]　[illegible]

[illegible]　雅子

納豆汁　京院言　今業史

初氷　茶山

鐘氷　中條

納豆汁　泡蕉

初氷　芝蘭

鐘氷　細蕉

田且

枝ゆきて風吉つきて鐘氷る　下サ　一字

姿ゆきつきの姿やとて氷る　丞頃

江ゆきつる山や特生に鐘氷る　中無

分ゆきつる風のこのくやこの氷る　貞恵

ゆく笑八氷る春ゆく嗜嘆の氷る　ムツ業史

氷ゆきや近く笑ゆるの春　工考史

凍く氷ゆきゆきつゆ　この祈　中東

氷る鐘報ゆ寂　病を生きあり生　ゆん

中ゆきつ氷ゆ天根也和やの氷る　堤嘆子

冴ル

冬の月

[illegible]　[illegible]調
[illegible]　[illegible]玩
[illegible]　イワ　[illegible]溪
[illegible]　[illegible]
[illegible]　上サ　[illegible]松
[illegible]　ムワ　[illegible]水
[illegible]
[illegible]　[illegible]芸
[illegible]　[illegible]蝸

月冴

寒サ

[illegible]　月白　[illegible]鳥
[illegible]　[illegible]雄
[illegible]　十六　[illegible]変
[illegible]　[illegible]仏
[illegible]　ヒカリ　[illegible]
[illegible]　十六　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]松
[illegible]　スルカ　[illegible]栖

網代

いつ本・あつ本・ふつ本 網代ぶの事なり

ふるゝ雨 花橘 ほと〻ぎす 良の
ぎく 桂 不田
屋 不田 文 雅月
業月

[illegible]

文世

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 鶯 ヒタチ 及岳
[illegible] 松濤
[illegible] ハウ 一止
[illegible] 三十三戈 ヽ 幽
鶯鶯[illegible] 松よりも[illegible] ムサシ 芝浦
[illegible] ヽ 龍友
枝末をうつして[illegible] ミヤ 母月
種物をつくし[illegible] ヒタチ 長賀
[illegible] 末の白ふるや三十三戈 上毛 瑞石

鶯の子啼

梅の鶯のうつるとき[illegible] トサ 呂濤
[illegible]日中[illegible] [illegible]
鶯や[illegible]の[illegible] セト 一葉
[illegible]や鶯[illegible] 美城
末[illegible]や一末の[illegible]月の松東 ヒタチ 烽龍
末[illegible]や立枝[illegible]の夕月松 サト 西鳴
[illegible]枝の[illegible]や末[illegible]の[illegible] トサト 外
末[illegible]の[illegible]! 池[illegible]の黄[illegible] 采[illegible]

木兎

千鳥

[illegible]・蘭・[illegible]・[illegible]・[illegible]・磯・[illegible]

雜物・機業・[illegible]　[illegible]柿

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

柴漬（フシヅケ）

正字罩を小屋とし竹を入れ置き竹を引上げ魚集り入る所

・柴の字 旦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　龍膽
[illegible]　科樹
[illegible]　[illegible]
[illegible]　金盞
[illegible]　[illegible]
[illegible]　甘藷
[illegible]　東山
[illegible]　朱頂

浮塵子

[illegible]　乙鳥
[illegible]　金頂
[illegible]　[illegible]
[illegible]　十條
[illegible]　淺友
[illegible]　金菊
[illegible]　上サ　[illegible]松
[illegible]　下サ　星鶯

鶯

[illegible]

鴨

[illegible] 東雲
[illegible] 文里
[illegible] 天ハ 大古
[illegible]・[illegible]・[illegible]・

鴨

月の光をうけやまぶきの小鴨うれ　風城

押ふるまぶきの池ふるの音　蓼洲

鴨ふるや夜明のまぶきの色　湖春

ふるまぶきや行の芦の夜をさむく　白雄

行ふる折ふるくこゝろ鴨の声　舊雄

鴨ふるく竹ふる田下のおもふ　素明

ふるふる雨をふるふるやまぶきの鴨　行脚

いまゝふるく来やまぶきて鴨の声　上ノ子　後調

鴨ふるまぶきのふるふる　峰風

冬の雁

鴨鷹

夜興引

冬ノ蠅

生海鼠

鱈

[illegible]

河豚

[illegible]

牡蠣

[illegible]の[illegible]の[illegible]の飯　三交
河豚の味噌汁　[illegible]　トクチ　一馬
飯買[illegible]　エチゴ　酒不
[illegible]け　[illegible]　宿ヽ　葉屋
[illegible]　[illegible]　壹長
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　文種
[illegible]　[illegible]　得泰
[illegible]　[illegible]　[illegible]

貝焼

榾

[illegible]　[illegible]　[illegible]
貝焼[illegible]の[illegible]の中　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　ニヨハ　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　京　[illegible]
[illegible]　神[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　ムツ　一止
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

炭竈

炭・白炭・鞍炭・炭団・炭屋・おもて炭・炭の箱・小炭俵・
池田炭・炭やき・おもて炭・獣炭・羊羹・ほうろく
（その獣の形ち炭をもて作るなり）朋

炭の名所

炭焼

炭焼

炭俵

炭屋

炭団

炭の箱

炭の箱の中の炭をもて作るなり

炭の箱の中の炭をもて作るなり

炭の箱の中の炭をもて作るなり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

布子

衾

紙子

蒲團

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

頭巾

角巾・丸頭巾

[illegible]

足袋

[illegible]

液雨（エキウ）　入梅立春の後十日入梅なるべし

滝一朱の巻立春の後十日入梅なるべし　本

惜父　優々

液雨も弱り人の世のうつり

巣蜜のこゝろ　菓洲

蕗ほのかに春雨ふる　龍得

蕗ほのかに春雨ふる　漁藻

春雨の世の仕業　徐蓮

小雨風に厚世の春雨　菓史（ムツ）

小雨田を出ましてふゆこゝろ　一宣

菓子屋のつくりの春雨　徐蓮

冬籠

日を十一もくらしつゝ春　籠　二八　永井

家相ゆゑ籠もる春雨　棋堂（サカヒ）

寝ぬまくらに笑ひ籠　海路（ハヤセ）

小雨雪の寒さ籠　一芳

世を捨ての春籠　賢角

こゝろの人古人の文や伊勢物語　宝閑

神仏にこもる春籠　優々

一生の牡丹咲せて春籠　晴江

手をあぶりこゝろ春籠　賀鶴子

雪垣

小國大雪ふる事十月の神より人家新しくかこうよりはじめ丸太杭をうちてうの字杭をゆひ筵を編つけて
[illegible]雪除雪のうちも[illegible]を[illegible]
の雪八町中新下の面[illegible]あるうちの雪のきを大切にする

雪垣のうちや市立人の声　文雄
雪のきの桑子の[illegible]雪[illegible]子れ　宗調
雪垣をたたきやぶるや蝶の蝶のうち　去棠
雪の[illegible]より[illegible]きしかしやぶの声　テハ乃美
雪垣やうちは[illegible]の仮[illegible]　優く

雪竿

雪のうちまつて人家をたすけるうの竿を立
雪中注連の竿のうちまを[illegible]雪[illegible]云○雪の
[illegible]より[illegible]或十一月又深雪の間[illegible]
[illegible]云[illegible]

雪竿を作り立やうとする家　元峰　風
雪竿ハ[illegible]　金　不光

山眠

[illegible]の[illegible]る山も[illegible]事　若狭
浪風を[illegible]ハ[illegible]や[illegible]の[illegible]　卜舟
江[illegible]を[illegible]の[illegible]　河峰
雨ハ[illegible]　自笑
[illegible]の[illegible]ハ[illegible]や[illegible]山　蓮堂
[illegible]山[illegible]　華時

冬野　[illegible]の新地の[illegible]の[illegible]　イセ　雅豊

[illegible]代の[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]

冬田　[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　二九八　完任

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]子

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　下井　卜外

冬ノ海　[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　十條

冬日和　[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　スルガ　月栖

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中頭城郡
石碇村
狸
中壢郡
桃澤區
知足堂